

積み降ろしの使い勝手と空間の可能性を広げる、助手席側センターピラーレス

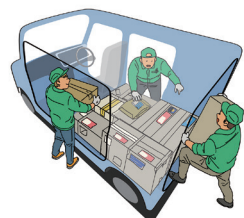
N-VANは助手席スペースにも荷物が積めるようにしたことから、助手席側からのスムーズな積み降ろしを可能にするために、センターピラーレス化に取り組みました。助手席側のフロントドア後方とスライドドア前方にピラー構造を持たせ、助手席用シートベルトもフロントドア後方に設置することで、軽バンでは初*となる助手席側センターピラーレスを実現。長尺物の積み降ろしなどにこれまでにない使い勝手をもたらすとともに、移動店舗のような使い方など、アイデア次第で空間の新しい用途の可能性を広げています。

*軽貨物車において。2018年7月現在。Honda調べ。

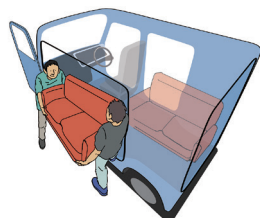
2WAYアクセスを実現した“ダブルビッグ大開口”

テールゲートは、ワイドな開口幅と低床設計によって大開口を実現。これに加え、センターピラーレスによって助手席側のワイドな開口を実現したことで、2つの大開口から荷室へのアクセスが可能になりました。荷室への動線が大きく変わること、積み降ろしの作業効率が大幅に向上します。

●使い勝手が大きく向上する “ダブルビッグ大開口”



積み降ろしが効率良く



大きな荷物の出し入れに



長尺物の積載にも



後方が狭い駐車スペースで

●助手席側センターピラーレスによる 空間の新たな使い方イメージ



移動店舗などに



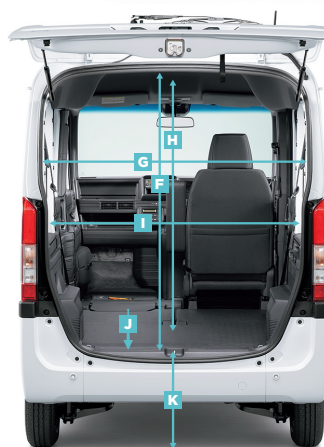
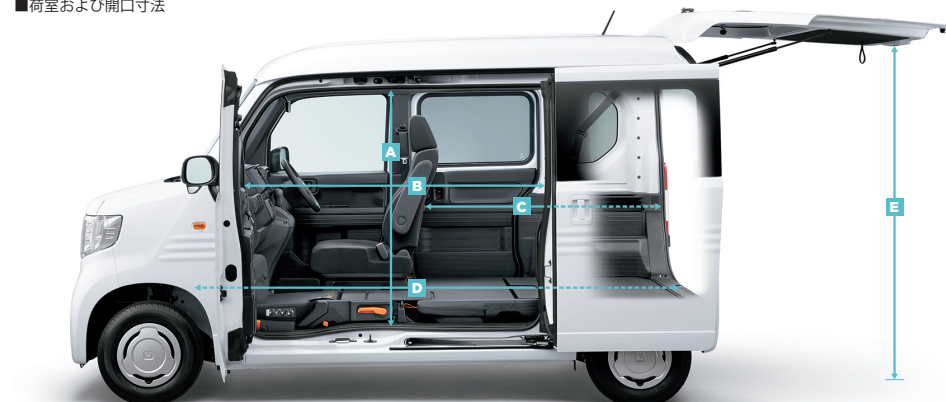
ネイルサロンやペットサロンに

開閉のしやすさにこだわった引き戸タイプのスライドドアハンドル

N-BOXのような乗用車の場合はパワースライドドアが設定され、ドアハンドルは横型タイプとなりますが、商用車の場合は頻繁な開け閉めや開閉速度から、手動のスライドドアがユーザーに好まれます。そこでN-VANは手動としたうえで操作性を検証し、引き戸タイプを採用。商用車としての優れた開閉操作を実現しました。



■荷室および開口寸法



	ハイルーフ仕様 (G / L / +STYLE FUN)	ロールーフ仕様 (+STYLE COOL)
A 助手席側開口部高	1,230mm	—
B 助手席側開口部幅	1,580mm	—
C 荷室長*1(2名乗車時 / 助手席側)	1,510mm (リアシートタイプダウン時)	—
D 最大スペース長*2	2,635mm*3	2,560mm (助手席・リアシートタイプダウン時 / USBオーディオ装着車)
E テールゲート地上高	1,890mm*4	—
F テールゲート開口部高	1,300mm	1,200mm
G テールゲート開口部幅	1,230mm	—
H 荷室高	1,365mm	1,260mm
I 荷室幅(4名乗車時)	1,390mm	1,325mm
J 荷室フロア長(2名乗車時 / 助手席側)	1,585mm (リアシートタイプダウン時)	—
K 荷室床面地上高	525mm*5	—

*1 シート背面からテールゲートまでの長さです。 *2 助手席足元スペースからテールゲートまでの長さです。 *3 +STYLE FUNは2,560mmとなります(USBオーディオ装着車)。
*4 FF車の場合、4WD車は1,905mmとなります。 *5 4WD車は540mmとなります。 ※A、B、D、E、F、G、J、Kの数値はHonda測定値。